

科目名称	臨床看護実践と総合評価	学年学期	単位数	時間数
		第3学年 後期	1	30
担当教員	太田 美枝	授業に関わる 実務経験	☒ 有 (看護師) ☐ 無	

【1】授業概要

看護実践能力の育成における3年間の集大成として、状況判断に基づく安全の確認・確保と優先順位を踏まえた個別的看護実践ができる基礎的能力を養う。

客観的臨床能力試験(OSCE)を実施し到達度を確認する。

【2】学習目標

1. 複数の事例を担当し、優先順位を考えた行動計画を立案できる。
2. チームメンバーと協力して看護援助を実施できる。
3. 実施した看護援助をチームメンバーと共に評価・修正できる。
4. 事例の状況に応じた、安全で安楽な看護援助を実施できる。
5. 実施した援助を評価できる。

【3】第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間の理解
- 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
- 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
- 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
- 5. 多職種との連携・協働
- 6. 地域医療の理解と生活の支援
- 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	臨床看護実践と総合評価オリエンテーション	講義
2	模擬病棟の受け持ち患者の事例展開	講義
3	チームの受け持ち時の1日の行動計画立案	講義
4	行動計画修正	講義
5	複数事例受け持ち時の行動計画の発表①	講義
6	複数事例受け持ち時の行動計画の発表②	講義
7	OSCE オリエンテーション	講義
8	シナリオ患者の理解①	講義
9	シナリオ患者の理解②	講義
10	シナリオ患者の看護①	演習
11	シナリオ患者の看護②	演習
12	複数受け持ち患者の看護①	実技試験
13	複数受け持ち患者の看護②	実技試験
14	実技試験の振り返り	講義・グループワーク
15	筆記試験・まとめ	

【5】評価方法

課題 40%、筆記試験 20%、実技試験 40%

【6】教科書

指定なし。事例に応じたテキストを準備しましょう。

【7】参考書

指定なし。事例に応じた参考書を準備しましょう。

【8】受講生へのメッセージ

OSCE(客観的臨床能力試験)とは看護実践に求められる「場」「状況」の判断に基づき、対象に配慮しながら実施する能力について客観的に判断する方法である。3年間の学びを統合してチームで複数患者を看護することを考えましょう。